

2016 10.1

市報 ひがしまつしま



写真…オール赤井まつりでは、赤井小学校の児童たちが、幕末の蘭方医で地元の偉人、大槻俊斎を後世に伝える副読本の製作費を集めるため、来場者に募金を呼びかけました。子どもたちの熱意を受け止めた地域の皆さんは積極的に募金に協力しました(9月4日、赤井市民センター)

特集

次代を担う
小・中学生の活動紹介
〈学校・地域・家庭との関わり〉

東日本大震災から5年半。復興を確実に進める上で、人材育成は欠かせません。中でも次代を担う子どもたちが心豊かに成長し自立していくためには、学校と家庭、そして地域が連携し、教育のあり方を考えていくことが重要です。市では子どもたちに地域を愛する心を育んでもらおうと、地域社会の中に子どもたちの活動の場を作り、世代を超えた交流にも力を入れています。

今号の特集では、市内の小・中学生が取り組む「心あったかイートころ運動」や、各市民センターで行われている「協働教育プラットフォーム事業」、また「防災キャンペーン事業」などについて中間報告します。

地域に関わる、 はぐく 地域で育む

～子どもたちの自立、
心豊かな成長に向けて～

市報
ひがし
まつしま
No.204

- 特集 次代を担う小・中学生の活動紹介 ～学校・地域・家庭との関わり～ ----- P2～P5
- まちの情報広場 ----- P6～P8
- City View ----- P10～P11
- 知っ得情報 ----- P14～P17
- 戸籍のまどほか ----- P19
- 市民協働のまちづくり ----- P9
- もっと知りたい!ひがしまつしま ---- P12～P13
- ヘルシーインフォメーション ----- P18
- 市民のカレンダー ----- P20



東松島市キャラクター イート&イーナ
(右) (左)



しみず
清水えみりさん
赤井南小6年生
(計画委員会委員)

児童中心に独自の活動



赤井南小学校
イートころ掲示板
ふわちく調査

「イートころ掲示板も「ふわちく調査」も、みんなが居心地の良い学校生活を送れるように考えたもので、周囲に胸を張って紹介できる取り組みです。
みんなが認めてくれる自分の長所が掲示板に張り出されていたら誰でもうれしい気持ちになりますし、ちくちく言葉が減って、「ありがとう」などのふわふわの言葉がふれば、みんなうれしい気持ちになります。これからも積極的に取り組んで、これらの活動を下学年のみんなにも伝えていきたいです。」

赤井南小学校では、「あいさつ、清掃、ゴミ拾い」の基本的な活動に加え、独自に「心あったかイートころ掲示板」「ふわちく調査」という2つの運動を実施しています。

イートころ掲示板は、友達の「良いところ」を見つけて掲示板に張り、多くの児童に知ってもらおう活動です。時々、お昼の放送などでピックアップして紹介することもあります。

ふわちく調査は、言われてうれしい「ふわふわ言葉」と、言われて傷付く「ちくちく言葉」を全校児童から寄せてもらい、画用紙などにまとめて紹介。皆で意識して「ちくちく言葉」をなくしていこうというユニークな取り組みです。

いずれも計画委員会の児童が中心となって取り組んでいます。

「心あったかイートころ運動」は子どもたちの自主性と奉仕の心を養うことを目的に平成22年から始まった、市が独自に行っている教育活動です。「あいさつ」「清掃」「ゴミ拾い」の3つを基本とし、各校ごとに励んでいます。
ここでは、市内の3小学校・1中学校の児童・生徒たちの日ごろの取組みを写真とともに紹介します。

■問 学校教育課学校教育班 ☎内線1251



鳴瀬未来中2年生

さとうかずと 佐藤紀仁さん
ちばたいせい 千葉大誠さん
ささきゆうま 佐々木悠磨さん

地域との関わりを大切に



鳴瀬未来中学校
クリーンdays
デイズ

クリーンdays活動では、学校の周辺地域に落ちていたペットボトルや空き缶などさまざまなゴミなどを拾い集めます。
20〜30人で取り組むのですが、集まるゴミの量はだいたいいつも1袋程度。ゴミが少ないということは、それだけ生徒の間で美化意識が高まっているという表れだと思えます。今後とも活動を続け、後輩たちにも引き継いでいきたいです。



鳴瀬未来中学校では、イートころ運動の3本柱「あいさつ、清掃、ゴミ拾い」を部活動単位で取り組んでおり、生徒同士の連帯感や美化意識の向上を図っています。このうち、毎週水曜日の早朝に実施している「クリーンdays」活動では、生徒たちが手分けをしながら、校地周辺の清掃に汗を流しています。

また、コミュニティスクールとして地域を巻き込んだ活動が多いことも鳴瀬未来中の大きな特徴です。地域の公共施設に出向いての清掃奉仕活動や、住民の皆さんと協力して行うリサイクル資源回収活動など、地域と積極的に関わることを重視しています。

矢本西小学校あいさつ運動

立ち止まり 目を見てあいさつ



あいさつは人と人の心をつなぐ魔法の言葉。矢本西小学校では、一日のスタートを気持ち良く迎えられるようにと、あいさつ運動に毎朝励んでいます。3年生から6年生までで当番を回し、児童が登校してくる午前7時55分から8時5分ごろの間に昇降口前と校門前で実施しています。

矢本西小の児童たちが交わすあいさつはとても丁寧。歩きながらではなく、一度立ち止まり、相手の目を見てから行うのが特徴です。友達や先生だけでなく、地域の皆さんにも大きな声であいさつができるように、取り組みに力を入れています。

元気よくあいさつをすると、不思議と自分もすっきりとさわやかな気持ちになり、「よし、今日もがんばるぞ」という気持ちになります。
まだ恥ずかしがっている人も中には見られますが、これからも積極的に呼び掛けていきたいです。



鈴木唯華さん
矢本西小6年生

私は2年生のときに仙台市から引越してきました。前に通っていた小学校ではあいさつ運動の習慣がなかったの
で、元気よくあいさつを交わす矢本西小の皆を見て、新鮮な気持ちになったのを覚えています。あいさつの輪をもっと広げたいです。



阿部心音さん
矢本西小6年生

自主性と奉仕の心育む 心あったかイートころ運動

大曲小学校クリーンタイム

学校への感謝を込めて



大曲小学校では、2カ月に1回「クリーンタイム」という時間を設け、校舎内や校庭の清掃をする奉仕活動を行っています。学級ごとに手分けして、特別教室や廊下の清掃、校庭の雑草除去、花壇の手入れなどを実施し、学校美化に取り組んでいます。9月12日(月)に行われた活動では、主に校庭の雑草除去に力を入れました。とくにプール脇や花壇の周囲は、夏休みの間に伸びきった雑草でいっぱいになっており、児童たちは互いに協力しながら一つ一つ丁寧に引き抜いていました。

茂木萌さん
大曲小6年生



クリーンタイムは、いつもお世話になっている学校に感謝の気持ちを込めて、みんなで取り組んでいます。もくもくと掃除に取り組む高学年の姿が、低学年にも伝わればいいと思います。
また大曲小ではあいさつ運動にも力を入れていて、みんなも少しずつ元気なあいさつが交わされるようになってきました。目標は「いつでもどこでも、だれにでも」。地域の皆さんから「おはようございます」が返ってくる、とてもうれしい気持ちになります。



市では、「市民協働のまちづくり」に取り組んでいます。現在、市教育委員会においても、『協働教育』の推進を目指し、事業や活動の展開を図っているところです。

『協働教育』とは、地域・家庭・学校が力を合わせ、子どもの成長や発達段階に応じた教育や活動支援を行い、地域全体でふるさとを大切にしようとする子どもたちを育むことです。平成28年度も各市民センターや学校を中心に地域・家庭・学校の三者が一体となったさまざまな活動が行われており、その活動のいくつかを紹介します。

■問 生涯学習課社会教育班 ☎内線3201・3202



地区民遠足 ～南三陸～

矢本西市民センターでは、7月24日(日)、地区民遠足を開催。南三陸町志津川の『ひころの里』を訪れ、養蚕の歴史を学ぶとともに、武家屋敷の見学やまゆ細工作りの体験を行いました。参加者からは「まゆ細工でタコを作ったのが楽しかった。(小5)」 「コサージュ作り、久しぶりに集中した。大家族の遠足のようで楽しかった。(一般)」といった感想を聞くことができました。



夏休み子ども塾 in大曲

大曲市民センターでは、7月25日(月)～8月17日(水)、①スポーツ・レクリエーション ②裁縫 ③料理の3講座の『夏休み子ども塾』を開催。大曲地区にお住まいの方々に講師に招き、いろいろなことを教えていただきました。小学校1年生から6年生までの子どもたちが、夏野菜入りのカレーを作ったり、雑巾がけリレーに挑戦したりしました。世代を越え、交流を深めることができました。



親子科学実験教室

野蒜市民センターでは、7月2日(土)、『科学実験教室』を開催。野蒜地区在住の岸澄夫さんを講師に招き、親子で仲良く「シャボン玉作り」「カルメ焼き作り」に挑戦しました。大きなシャボン玉やザラメから作るカルメ焼き体験は、驚きの連続でした。

嵯峨溪・セッコク見学

宮戸市民センターでは、6月6日(月)、『嵯峨溪・セッコク見学』を行いました。澄み切った青空の下、宮野森小学校4年生26人が東松島市の宝物の一つである嵯峨溪見学とセッコクの観察を行いました。初めて目にする光景に、子どもたちは大興奮でした。



～ 東松島市防災キャンプ事業 ～

《 防災キャンプ事業Ⅰ 》

東松島市イン・リーダー研修 「防災プログラム体験」

市内の小学校から67人の5・6年生が参加したイン・リーダー研修が7月16日(土)～18日(月)に行われました。28年度は、防災キャンプ事業の一環として、県松島自然の家および東北福祉大学の学生の皆さんや東北大学の佐藤翔 助教を講師に招き、「ひねりパン作り」や「災害を生きぬくゲーム」「防災家族会議」といったプログラムに挑戦しました。非常時にはどのような行動をすべきかについて、学んでいました。



《 防災キャンプ事業Ⅱ 》

「ジュニア・リーダー防災研修会」



8月22日(月)に東松島市・石巻市・女川町の2市1町のジュニア・リーダーが参加し、『応急手当の方法』『空き缶を使った炊飯』『おにぎり作り』の3つの防災プログラムを体験しました。非常時に役立つ知識や技術の習得に努めるとともに、災害時における自分たちの役割や責任について考える機会になりました。

東松島市ふるさと教室



東松島市では、市内の小学校4年生を対象に「ふるさと教室」を実施しています。体験活動を通して、郷土の産業や歴史、自然について学び、ふるさと東松島市を愛する心を育むことをねらいとしています。今年も間もなく各校で「のりすき・かきむき体験」などが行われます。
※写真は27年度の様子

《協働教育に関する事業 参加者の声 ～VOICE 10～》

- ・「学年を越えて子ども同士、親同士が楽しく過ごせてよかった。」
- ・「温度計を見ながらのカルメ焼き実験は面白くて、おいしかった。」
- ・「なかなかできない貴重な体験をすることができてよかった。」
- ・「ゆでたまごを糸を使って切るのがすごかった。」
- ・「子どもたちの笑顔と歓声に元気をもらいました。」
- ・「初めて食べた東松島市のかきはおいしかった。今度お母さんに頼んでお家でも食べてみたい。」
- ・「災害時にどのような行動を取れば良いのかについて分かった。」
- ・「ジュニア・リーダーとして、非常時に自分たちにできることを考えて行動したい。他の地域のメンバーと交流できたことも良かった。」
- ・「子どもたちの生き生きした姿に感動しました。私たちにできることなら、また機会をいただきたい。」
- ・「東松島市にこんなにきれいなところがあることを初めて知りました。」

放課後子ども教室



28年度から、矢本西小学校を会場に『放課後子ども教室』を開催しています。1～3年生の児童を中心に毎回約40人の子どもたちが、さまざまな体験や学びを行っています。これまで地元の漁師さん、社会体育指導員、警察署の皆さんなどを講師に招き、指導をしていただきました。また、地域ボランティアの方々には、毎回子どもたちのお世話をサポートしていただいています。

今後、大曲小学校においても「放課後子ども教室」を実施する予定です。地域の子どもの学びを支えるボランティアの方も随時募集しています。

■問 生涯学習課社会教育班 ☎内線3201・3202

平成28年度東松島市協働教育研修会

新しい学びのシンポジウム～『地域とともにある学校づくり』～

■日時 11月10日(木)18時45分～20時30分
(受付:18時～)

■場所 東松島市コミュニティセンター 1Fホール

■日程・内容

【第1部】

講話『コミュニティ・スクールで何がかわるか?』

講師:井上 尚子(東京都杉並区立天沼小・中学校

運営協議会委員、文部科学省コミュニティ・スクールマイスター)

【第2部】

パネルディスカッション「コミュニティ・スクールで拓く 地域と学校の新しい姿」

4人のパネラーが、復興が一番進むまちにふさわしいコミュニティ・スクール、地域・家庭・学校の協働のあり方を熱く語ります。

コーディネーター:野澤 令照(宮城教育大学学長付特任教授)

パネラー:井上 尚子(東京都杉並区立天沼小学校・中学校運営協議会委員)

櫻井 一義(鳴瀬未来中学校学校運営協議会委員長)

山崎 恵草(農業)

高橋 功(鳴瀬未来中学校校長) ※敬称略。

■主催・主管・問 東松島市教育委員会・東松島市協働教育推進会議

(事務局:生涯学習課社会教育班) ☎内線3201・3202



まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111
代表FAX 0225-82-8143
(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

ボランティアの経験忘れられず



大阪府枚方市から派遣
総務課
長谷 奈央子さん 27歳

東日本大震災発災時、大学4年生だった私は気仙沼市や岩手県大槌町などに出向きボランティア活動を行いました。その経験が大きく心に残っていたこと、そして前任者のすすめもあり、派遣を希望しました。実際に被災された方々からお話を聞き、大変な一日一日の積み重ねで現在と今後の展望があるのだと改めて感じました。

任期は来年3月までの1年間。至らないところもありますが、復興のお役に立てればと日々取り組んでいます。ここでの経験を地元に戻っても活かしていきたいです。

子どもたちの笑顔のために



埼玉県東松山市から派遣
保健福祉部子育て支援課
冷泉 穂高さん 27歳

野蒜保育所の災害復旧新築工事や、公立保育所の管理運営に関する契約関係事務を行っています。3年前に一度東松島市を訪れており、その際の被災地に残された震災の爪あとに衝撃を受けました。少しでも復興の力になればと今回の派遣を希望しました。

3年ぶりに見たまち並みは、復興が着実に進む一方で、震災を契機とした保育ニーズの増加も感じます。その中で、職場や市民の皆さんから日々学ぶことが多いです。それを糧に、子どもたちの笑顔が増えるよう、職務にまい進していきます。

半年かけて宮城弁をマスター



広島県広島市から派遣
復興政策課
大幡 義允さん 34歳

生まれも育ちも広島市で広島カーブの大ファンです。東松島市では行政経営会議など庁内で開催される会議の運営業務に携わっています。記録を作成する際、特に内容が白熱してくると宮城弁が聞き取れず苦労しましたが、半年が過ぎ徐々に慣れてきました。

東松島市の海産物や野菜は新鮮で、お酒もおいしいため食べ過ぎてしまうこともしばしば。広島名産のカキだけは譲れませんが、東松島産のカキも同じようにおいしくて驚きました。

東松島は暮らしやすいまち



愛知県から派遣
学校教育課
足立 政晴さん 26歳

東日本大震災発生時は愛知県入庁の直前で忙しく、ボランティア活動をできなかったことが気になっていました。ニュースなどで現在も被災地の自治体職員の大変さを知り、派遣募集に応募しました。

東松島市については着任までよくわかりませんでしたが、気候が穏やかで暮らしやすいまちという印象です。教育委員会の業務は携わったことがなく、右も左も分からないまま半年が過ぎました。学校検診の調整などを担当しており、少しでも市民の皆さんのお役に立てればと考えています。

長期派遣職員の紹介

●長期派遣職員の皆さんは、「桜色(ピンク)のリード(ひも)がついた名札を着用しています。

皆さんとのふれあいを大切に



東京都中野区から派遣
市民課
諏訪 成子さん 52歳

人の心が温かく、雄大な自然が心を癒してくれる。東北には幼い頃からそんな感情を抱いており、大人になった今でも時間を見つけては東北のあちこちを巡るほど、私は東北の人と自然に魅了されています。

5年間待ちに待った派遣の機会。かねてからの思いがやっと叶ったという心境です。「今日はどんな人と出会えるのだろう」と、毎日ワクワクしながら生活しています。仕事はもちろんですが、地域の皆さんとのふれあいを大切に、一人でも多くの方と心の交流ができればうれしいです。

スピード感大事に仕事を



仙台市から派遣
復興都市計画課
熊谷 健治さん 35歳

大曲地区の土地区画整理事業で、主に土地造成や道路工事に関わる業務を担当しています。震災当時は仙台港で被災し、これまで仙台市沿岸部の復興事業に携わってきました。そのような経験を活かせればと思い、今回の派遣を希望しました。

東松島市は私の出身である登米市と同様に自然が豊かで、都市部とは違う魅力があります。そんな環境の良さを守りながら、これからのまちづくりへ向けて、より一層のスピード感をもって仕事に取り組んでいきたいです。

東北の美しさに感動



熊本県天草市から派遣
復興政策課
中原 康宏さん 34歳

東日本大震災時は天草市の離島で働いていましたが、東北から遠く離れた熊本の地まで津波が到達したことは忘れられません。微力ではありますが、皆さんのお役に立てるように一生懸命頑張ります。

任期は今年4月から来年3月までの1年間です。実は、東松島市に引っ越す直前の3月24日に婚姻届を出しました。休日は妻と一緒に牡鹿半島に釣りに出かけるなど、ちょっとした新婚旅行気分も味わっています。秋の紅葉、冬の雪景色など東北の美しい風景も堪能したいです。

観光産業の復興はまさに今から



福岡県豊前市から派遣
商工観光課
尾田 誠さん 26歳

震災前から豊前市は東松島市から種牡蠣をいただいております。復興のお手伝いができればという思いで志願しました。震災から5年が経ち、生活に直結するインフラなどは整いつつありますが、観光産業の復興はまさにこれからです。現在、東松島市を観光で訪れる人の数は、まだ震災前の半分に留まっています。この観光客数を回復させるために尽力したいです。

また、今は観光情報を誰でも簡単に世界に発信できます。皆さんも東松島の景色やおいしいものを発信してみてください。市内には、世に知られていない一級品がたくさんあります。

東松島市臨時福祉給付金の申請

消費税率引き上げに伴う負担軽減のため、暫定的・臨時的な措置として「臨時福祉給付金」を支給します。

■給付対象者…次の①・②のいずれにも該当する方

①基準日(平成28年1月1日)において、東松島市の住民基本台帳に登録されている。

②平成28年度分の市民税(均等割)が課税されていない。

ただし、以下の場合には対象外となります。

・自身を扶養している方(16歳未満の方は生計を一にする保護者)が課税されている(扶養の中には、地方税法の規定による控除対象配偶者、扶養親族のほか、配偶者特別控除における配偶者、青色事業専従者及び白色事業専従者を含みます)

・生活保護受給者、中国人残留邦人等に対する支援給付受給者など

・給付金の支給決定がされる前に亡くなられた

■給付額 給付対象者1人につき3,000円

臨時福祉給付金及び障害・遺族基礎年金受給者向け臨時福祉給付金の申請・支給手続き

対象と思われる方には、8月下旬に申請書等を市福祉課より郵送していますので、内容を確認のうえ申請書に記入、必要書類を添付し返信用封筒にて提出してください(切手不要の返信用封筒を同封しています)。

持参いただくこともできますが、

窓口は大変混雑するため、

郵送での提出にご協力ください。

まずは申告をお願いします。

※対象と思われる方で、申請書が

届いていない場合は問い合わせください。



カクニジヤ

東松島市障害・遺族基礎年金受給者向け臨時福祉給付金の申請

賃金引き上げの恩恵が及びにくい低所得の障害・遺族基礎年金受給者への支援により、所得全体の底上げを図る観点から社会保障・税一体改革の一環として、「障害・遺族基礎年金受給者向け臨時福祉給付金」を支給します。

■給付対象者…次の①・②のいずれにも該当する方

①東松島市臨時福祉給付金の支給対象である。

②障害基礎年金、遺族基礎年金について平成28年5月分を受給した。

ただし、以下の方は対象外となります。

・年金生活者等支援臨時福祉給付金(65歳以上対象30,000円)を受給した方
・給付金の支給決定がされる前に亡くなられた方

■給付額 給付対象者1人につき30,000円

※この給付金について、市役所から市民の皆さんにATM操作をお願いすることはありません。市の職員を装った「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください。

■申請受付期間 平成28年9月1日(木)～平成29年2月28日(火)

※期限までに申請されない場合は、支給できませんのでご注意ください。

※郵送での提出の場合は、平成29年2月28日当日消印有効とします。

■申請・給付方法郵送または窓口での申請…返信用封筒を同封しますので窓口混雑緩和にご協力ください。申請受付後、申請書に記載いただいた指定口座に入金します。

※住民税について未申告の方は、対象となる方(該当者)か判断できませんので、まずは申告をお願いします。

※対象と思われる方で、申請書が届いていない場合は問い合わせください。

■問 臨時福祉給付金実施本部(事務局:福祉課福祉総務班)

☎内線1173・1174

ひがしまつしま割増商品券 10月20日(木)から発売開始

商品券発行事業は、平成21年度から実施しており、28年度で8回目の実施になります。今回も魅力的な割増商品券となっていますので、ぜひご利用ください。

■販売期間 10月20日(木)販売開始 ※売切れ次第、販売終了。

■使用期間 10月20日(木)～平成29年1月31日(火)

■商品券の内容 1セット(1,000円の商品券が11枚、または1,000円の商品券が11枚+ラッキー券1枚)を10,000円で、合計10,000セット販売します

※商品券は共通券5枚(全取扱加盟店で使用可能)と専用券6枚(大型店以外で使用可能)の2種類で、1,000セットにはラッキー券(全取扱加盟店で使用可能)が入っています。

■販売場所 販売場所は市内各店舗、市民センター、市商工会など34カ所です(右記一覧参照)

■取扱加盟店 取扱加盟店は、市内181店舗です(9月20日現在)

※各取扱加盟店は、市報10月15日号でお知らせします。

■問 東松島市商工会 ☎82-2088

東松島市商工会鳴瀬支所 ☎87-2026

商品券販売店一覧(9月20日現在)

地区	事業所名	地区	事業所名
大町	(株)いしがき金物店	大曲	Yショップ土井商店
大町	(有)庄司薬局	大曲	和牛の店 みちのく
大町	(有)衣料のせきや	大曲	大曲市民センター
駅前	本と文具 おいかわ	赤井	(株)TK自動車
駅前	(有)まるみ	赤井	(株)マックス
町浦	矢本東市民センター	赤井	赤井市民センター
駅北・上河戸	セブンイレブン矢本インター店	大塩	(株)オイタミート
駅北・上河戸	矢本西市民センター	大塩	大塩市民センター
大通り	(株)千石建設	小野	(株)上東五和
大通り	(株)ちゃんこ萩乃井	小野	陸前小野販売店
大通り	のり工房矢本	野蒜	野蒜市民センター
鹿妻	(有)大槻商店	宮戸	奥松島遊覧船案内所
鹿妻	喜久兵衛	宮戸	桜井酒店
小松	大江酒店	宮戸	桜井商店
小松	シャディギフト館矢本店	矢本運動公園(仮設店舗スペース)	相栄商店
小松	フジヤ矢本店	東松島市商工会	本所
大曲	(株)橋本道路		鳴瀬支所

認知症サポーター養成講座開催します

■日時 10月6日(木)10時～11時30分、10月26日(水)13時30分～15時

■場所 市社会福祉協議会(老人福祉センター) 集会室

■内容 認知症の理解や認知症の人への接し方についての講話、寸劇

■対象者 市内在住の方ならどなたでも可 ■参加費 無料

■申し込み 10月4日(火)まで、希望の日程で申し込みください

認知症家族交流会

10月・11月は、調理を通して交流を深める企画をします。はじめて参加する方、男性介護者の方、大歓迎です。

■日時 10月24日(月)・11月18日(金)10時～12時30分

■場所 市コミュニティーセンター2階調理室・和室 ※エレベーターあり。

■内容 調理(野菜まるごと活用術、10月:かぼちゃ、11月:白菜)と会食

■参加費(材料費) 1人 500円

■持ち物 エプロン、三角巾(タオル・てぬぐいなどでもよい)

※当事者の方も一緒に調理に参加し、脳活性をしましょう。家族の方は栄養士に気軽に相談できる機会にもなります。

■申し込み 10月14日(金)、11月8日(火)までそれぞれ申し込みください

認知症専門相談会

■日時 10月27日(木)13時～17時

■場所 市地域包括支援センター相談室

■内容 「最近物忘れがひどくなってきた」「今までできていたことができなくなり、心配だ」など認知症状や家族の対応について認知症専門医に相談できます。

■担当医 こだまホスピタル進藤医師 ■参加費 無料

■申し込み 10月13日(木)まで申し込みください



認知症困りごとなんでも相談会

■日時 10月14日(金)9時30分～16時

■場所 市地域包括支援センター相談室

■内容 認知症の症状への対応や困った行動についてどう考えるかなど、臨床心理士がお答えします。

■参加費 無料

■申し込み 10月7日(金)まで申し込みください



■上記の問・申し込み 東松島市地域包括支援センター ☎83-1966

まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111

代表FAX 0225-82-8143

〈東松島市内での固定電話の市外局番 0225〉

はなゆいプロジェクト2016参加者募集

勾玉ストラップ作り

■日時 10月8日(土)15時~17時 ■場所 奥松島縄文村歴史資料館

■対象・定員 幼児から高校生までの方 30人

■費用 無料 ※材料費は事務局で負担します。

自然を守ろう大作戦

■日時 10月9日(日)9時50分~11時40分

■場所 稲ヶ崎公園および海岸(宮戸月浜)

■集合場所 奥松島縄文村歴史資料館

■対象・定員 小学生から高校生までの方 30人

※小学生は保護者が同伴してください。

■講師 自然観察会…高橋和吉氏(野生植物研究所所長)

帰化植物駆除…村上昌芳氏(NPO法人LEAF26理事長)

■持ち物 飲物・マスク ※長ズボンと歩きやすい靴で参加してください。

被災地の話を聞く・交流発表

■日時 10月9日(日)13時30分~15時30分

■場所 奥松島縄文村歴史資料館

■対象 小学生から高校生の方 30人

※小学生は保護者が同伴してください。

■講師 被災地の話…齋藤剣一氏(市消防団)

語り部…石巻西高等学校生徒 ほか

■アドバイザー 佐藤俊昭氏(東北大学名誉教授)

■問・申し込み 一般財団法人ガールスカウト北海道連盟 ☎011-221-4811

E-mail: gshc@rainbow.ne.jp

NPO法人LEAF26(村上)

☎090-4555-0026 FAX:0229-87-3026

E-mail: leaf@leaf26.or.jp



10月からインフルエンザ予防接種が始まります

インフルエンザを予防するため、早めの接種をおすすめします。市では10月1日(土)から65歳以上の方を対象として費用助成を行います。対象の方には予診票を郵送しますので、接種を希望する方は指定医療機関に予約のうえ、予診票を持って受診しましょう(市指定医療機関の一覧を同封しますので、ご確認ください)。
※予診票は9月下旬までに郵送予定です。届かない方や転入してきた方は、下記に電話で連絡ください。

■公費助成期間 10月1日(土)~平成29年1月31日(火)

■助成対象者 65歳以上の市民の方(昭和27年4月1日以前に生まれた方)

■自己負担額 1人1,500円(医療機関でお支払いください)

※ワクチンの変更に伴う値上がりにより、自己負担額が変更になっていきますので、ご了承ください。

■問 健康推進課健康推進班 ☎内線3102・3108



東松島型地域住宅 つながるYEAH(家)!からのお知らせ 「建築相談会~暖かい家~」開催

現在お住まいの家や、これから建築しようと考えている家のことについて、日頃の疑問・質問を日本建築家協会に所属する建築のプロに相談する良い機会です。気軽にお越しください。

■日時 11月13日(日)11時~13時

※お越しいただいた順にご相談を受け付けます。

■場所 東矢本駅前のモデル住宅(住所:東松島市矢本字下浦196-1)

■問・申込先 モデル住宅内相談窓口 ☎98-8308

開館時間 10~16時(毎週水曜日休館)

Facebookページでモデル住宅の紹介やお知らせを配信します。

ぜひご覧ください。

URL:https://www.facebook.com/tsunagaruYeah



デンマーク王国「ロラン市」 視察交流事業 参加者募集



2017年は、日本とデンマーク王国が交流を開始して150周年を迎える年です。東日本大震災において、当市に多大な支援協力をいただいたデンマーク王国。そのなかでも、2012年7月に東松島市・ロラン市復興連携協力協定を結び、中学生のホームステイなどを行ってきた「デンマーク王国ロラン市」への感謝表敬と研修を兼ねた視察交流事業を行います。

参加を希望する方は、参加希望理由を1200字以内で記載し、10月20日(木)まで、下記に提出してください。

※申込者は書面にて審査し、11月10日(木)までに郵送で参加決定の有無を通知します。

■視察期間(予定) 平成29年1月17日(火)~1月24日(火) 6泊8日

■視察先(予定) デンマーク王国ロラン市(自然エネルギー施設、福祉施設、研究所、市役所、交流施設など)およびコペンハーゲン市 ほか

■募集人員 15人程度

■応募資格 原則、市内に在住または在勤、在学する18歳以上で、12月1日(木)までにパスポートを所持でき、以下の2点にあてはまる方

①事業の趣旨を理解し、市の復興および国際化の推進等に貢献しようとする意欲のある方

②市が開催する事前研修および報告会への出席が可能な方

※事前研修は12月中の夜間の時間帯、事後報告は3月を予定しています。

■費用負担 参加費(個人負担金)は、成人10万円、学校教育法第1条に定める学校(大学等)に在学中の方は5万円

※そのほか、海外航空券・燃油サーチャージ・国内国外移動費・宿泊費(個室予定)・朝夕計10回の食費・通訳などの視察費は市費負担。

※パスポート取得、個人的な飲食などの経費については個人負担になります。

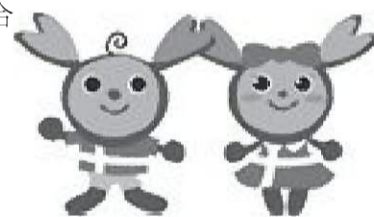
■申し込み 封筒に「ロラン市視察交流事業申込書」と住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入のうえ、10月20日(木)17時まで、市役所復興政策課リーディングプロジェクト推進班に郵送または持参してください

※現地の都合により、日程は変更になる場合があります。

■問・申し込み

復興政策課リーディングプロジェクト推進班

☎内線1242・1243



未来につなぐ相続登記~相続登記はお済みですか~

相続した不動産(土地・建物)についての相続登記は、不動産の所在地を管轄する法務局に申請が必要です。

長い間、相続登記をしないままですと、さらに2次3次の相続が発生し、手続きがますます難しくなってしまいます。

トラブルを未然に防ぐためにも、早めに相続登記をしましょう。

■問 ○宮城県司法書士会

(無料電話相談:祝日を除く月~金曜日の13時~20時)

相談専用電話☎022-221-6870 フリーダイヤル☎0120-216-870

○仙台法務局石巻支局(登記相談は予約制)

予約電話番号0225-22-6188

東松島市内の放射線測定

市では現在、市役所本庁舎西側通用口付近に、国の放射線測定可搬式モニタリングポストを設置していることから、この測定結果を掲載します。

空間放射線線量率調査結果(市役所西側通用口付近 地上1m:午前8時現在)						
測定月日	9月16日	9月17日	9月18日	9月19日	9月20日	9月21日
測定値(単位:μSv/h)	0.032	0.032	0.036	0.032	0.035	0.031

※原子力規制委員会のホームページでリアルタイムの測定結果を公表しています。

URL:http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/

■問 環境課環境班 ☎内線1155

ともに復興へ

みんなが主役の

市民協働のまちづくり 40

■問 市民協働課協働推進班 ☎内線1281

地域情報を手軽にウェブ発信! 地域ポータルサイト「e-コミ!ねっと」

市では、地域のために活動する市民活動団体のPR活動サポートを目的として、地域ポータルサイト「e-コミ!ねっと」を運営しています。

特徴その1

手軽に無料でホームページ

登録料・使用料はかかりません。登録することで、簡易なホームページを作成することができます。
※登録に際しては、一定の条件があります。詳しくは問い合わせください。また、通信料は利用者負担です。

特徴その2

メールマガジンで情報共有

あらかじめメール受信者のアドレスを登録しておくことで、共有したい情報をメールで一斉に送ることができます。
会議やイベントの様子を、欠席者にもお知らせできます。

特徴その3

かんたん更新

パソコン・スマートフォン・タブレット端末などから掲載したい写真を添付したり、文字を打ち込むだけで自動的にサイトのレイアウトができていきます。特別なウェブサイト構築の知識は不要です。利用方法についての問い合わせも受け付けています。

※登録しなくても、ウェブサイトを見ることができます。「e-コミねっと」で検索

インタビュー:e-コミ!ねっとを活用している団体に伺いました

団体名:矢本ジャードーズ

団体紹介: 矢本地区を拠点として結成した女子ソフトボールチームです。「ソフトボールが好き」という気持ちでつながった仲間と共に、全国大会を目標に練習中です。



チーム名は「邪道」が語源で、「敵も味方も驚くようないいプレーをしよう」という願いが込められています。



「e-コミ!ねっと」で「矢本ジャードーズ」を検索してみてください。

Q: どれぐらいの頻度で更新していますか。

A: 月に2回ぐらいのペースで更新しようと思っていますが、忙しいときはできる範囲で更新を絶やさないようにしています。



Q: 更新作業は時間がかかりますか。

A: 1つの記事を更新して、メールマガジンで配信するまで、10分もあれば終わります。

普段、事務仕事でパソコンを使う機会がありますが、特別にパソコンの知識がある訳ではありません。



Q: 反応はありましたか。

A: これまで、e-コミ!ねっとのページを見た20代や高校生といった若い世代からメールがありました。中には入部してくれた人も何人かいます。やっぱり今の若い世代は、ネットから情報を拾ってくるのが上手いですね。

また、忙しくてなかなか活動に顔を出せない方や、遠方に引っ越してしまった方に、今どのような活動をしているのか、お知らせすることができ、便利に使っています。



■問 市民協働課協働推進班 ☎内線1283

第8回矢本西地区の日「ウエスト・カーニバル」開催

レクリエーション中心のミニ運動会を開催します。終了後は“ごっつおう5”。5つの地区自慢の味(いも煮など)を振る舞います。矢本西地区皆さんの参加をお待ちしています。



■日時 10月16日(日) 9時開会

■場所 矢本西小学校校庭

※雨天時は中止。

■主催 矢本西コミュニティ協議会

■問 矢本西コミュニティ協議会(事務局:矢本西市民センター)

☎82-1181

生きがい健康づくり石巻地区大会開催

健康でいきいきとした人生をめざし、地域住民のスポーツ交流を通して自己の資質向上と地域住民の「健康づくり」に対する意識を高めることを目的に開催します。皆さん、ぜひご参加ください。

■日時 10月26日(水)10時~(12時30分終了予定)

※受付:8時45分~、開会式:9時15分~。

■場所および内容

①ウォーキング(市民体育館~鷹来の森運動公園までの6km)

②ニュースポーツ(ペタンク・ディスコン・バッコウ:市民体育館)

※参加者は①・②のいずれかを受付時選択する。

■対象 地域住民・宮城いきいき学園石巻校卒業生・在校生

※参加希望者は当日市民体育館にお越しください。事前申込不要。

■参加料 無料 ■持ち物 飲み物・上靴

■問 東松島市担当(黒澤) ☎83-4102

あったかいホール

&

蔵しっくパーク

からのお知らせ

ポヌールマルシェ

■日時 10月15日(土)10時~14時

○野菜やハンドメイド作品などの販売

毎月いろいろな手作り小物などの出店があります。

【出店者募集】

■出店料 1ブース…個人:500円、企業・団体:1,000円

■登録料 100円(初回のみ)

■申し込み 「ひと・まち交流館」にて受付中

○キッズプレイルーム ※予約不要。

■入場料 100円(当日頂きます)

■対象 小学生以下

※ベビー用マット完備・食べ物持込可・ママ友の交流に。

毎月第3土曜日開催
雨天決行

フランス国旗が目印です



~ハロウィンマルシェ~

■日時 10月9日(日)11時~14時

○トリックオアトリート♪

仮装してくらっばにお集まりください。仮装して来場のお子さんにはお楽しみプレゼント。仮装して来てくれた大人の方にも豪華景品を差し上げます。

○同時開催 くらっば駄菓子博

いつも以上にパワーアップした品ぞろえです。

○こどもマルシェ

一日こども店長がいろいろな物を販売します。

■問・申し込み ひと・まち交流館 ☎84-1770

くらっばがハロウィンの世界に变身。お楽しみに。



東松島市内市民センター等の運営には、防衛施設とその周辺地域との調和を図ることを目的とした防衛省の補助事業が活用されています。

CityView!



「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、皆さんにお届けします。<掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>

ちいさな命の誕生

赤井市民センター「わらべ学級」

第2回わらべ学級「命の学習「赤ちゃんとおぼろ」」が開催され、小学生約20人が参加しました。参加者は、助産師の本田由美さんが語る、赤ちゃんの誕生や胎内記憶の話に興味津々に聞き入っていました。

また、後半は赤井地区の生後3か月～1歳半のお子さんを持つ母子、7組との交流を行いました。赤ちゃんを抱っこするなどの体験を通し、子どもたちからは「赤ちゃんは思っていた以上に重かった」「ぷにぷにしていた」といった感想が多く聞かれました。小学生にとって小さな命に触れる機会は、とても貴重な体験となりました。

(9月10日、赤井市民センター)



防災・復興に女性の力を活用

本年度1回目の防災研修会では、防災・復興に女性の力を活用することをテーマに講演会が行われました。仙台市のNPO法人イコールネット仙台の宗片恵美子代表理事は震災後のアンケート結果を示し、避難所などの女性リーダーの必要性を訴えました。市内の自主防災組織や婦人防火クラブなど日頃から活動する約200人が来場し、地域でできる取り組みについて考えました。(9月13日、市コミュニティセンター)



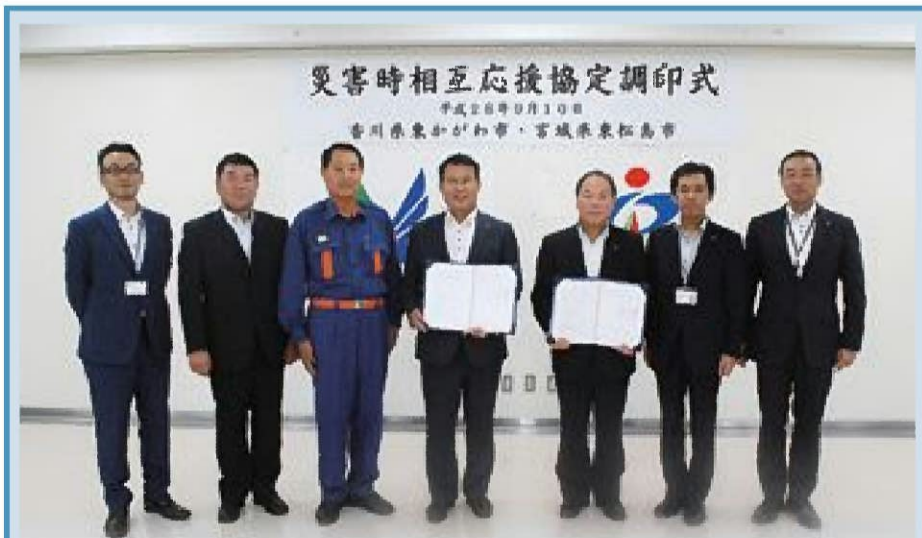
「少年の主張」石巻地区大会
渡邊まつりさん(矢本第二中学校)が最優秀賞

第38回「少年の主張」石巻地区大会(青少年のための宮城県民会議主催)には、石巻地方の中学校16校の代表生徒が登壇し、学校や部活動、命の尊さなどをテーマに熱い思いを訴えました。内容や表現力、発表態度などの審査の結果、「『挑戦』という名のスタート」の題で発表した渡邊まつりさん(矢本第二中学校2年)が最優秀賞に選ばれ、地区代表として県大会に出場しました。(9月8日、鳴瀬未来中学校体育館)



希望の団地で新たな歴史を
野蒜ヶ丘地区99区画引渡し

野蒜北部丘陵団地(野蒜ヶ丘地区)では2回目となる99区画分の宅地の引渡し式が開かれました。移転者の代表者は「震災当時はここまで復興できるとは想像できませんでした。ここは私たちにとって希望の団地。皆と新たな歴史を作っていきたいです」と晴れやかな表情で語っていました。(9月4日、野蒜市民センター)



東かがわ市と災害時応援協定締結

市と香川県東かがわ市が災害時相互応援協定を結びました。東かがわ市による復興支援職員派遣をきっかけに両市の交流は深まり、今回の協定につながりました。調印式で阿部秀保市長は「万一の災害発生時には恩返しをしたい」と語り、東かがわ市の藤井秀城市長も「防災以外でも両市で交流していきたい」と語りました。協定では、災害時に互いに食糧や飲料水などの支援物資提供や職員派遣、被災者の受け入れなども行います。(9月10日、市役所)